報道関係各位

2023年4月26日

BYD Auto Japan株式会社

**電気自動車販売台数世界No.1（※1）のBYDが「ららぽーとEXPOCITY」に出店**

**「BYD AUTO EXPOCITY」が2023年4月28日（金）グランドオープン**

BYDの日本法人であるBYD Auto Japan株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、以下 BYD Auto Japan）の正規ディーラーであるフォーシーズンズ株式会社（本社：大阪府泉佐野市、代表取締役社長：佐藤 賢一、以下 フォーシーズンズ）は、2023年4月28日（金）、大阪府吹田市に「BYD AUTO EXPOCITY」をグランドオープンいたします。

本店舗は、グランドオープンに先駆けた店舗準備期間として、本日4月26日（水）よりプレオープンいたします。

（※1）電気自動車はEV/PHEV/FCVの総称で2022年1～12月期の販売台数 出典：マークラインズ(株)



大阪府吹田市にオープンする「BYD AUTO EXPOCITY」

この度オープンする「BYD AUTO EXPOCITY」は、300を超えるショップが揃う「三井ショッピングパーク ららぽーとEXPOCITY」内へ位置し、様々な大型エンターテイメント施設を併設する集客性の高い場所へ出店します。同店舗は、大阪モノレール「万博記念公園駅」から徒歩2分、名神高速道路・近畿自動車道の吹田IC、中国自動車道・中国吹田ICから2km圏内と利便性も高いエリアです。

店内では、発売中のミドルサイズe-SUV「BYD ATTO 3（読み：ビーワイディーアットスリー）」を常時展示し、商談や試乗のご案内を受け付けているほか、専門トレーニングを受講したサービススタッフが、点検、車検、修理などの車両整備を行い、お客様のカーライフをサポートいたします。

**本件に関するお問い合わせ：**

ビーワイディージャパン株式会社　広報部 ：[japanpr@byd.com](mailto:japanpr@byd.com)

**製品に関するお問い合わせ：**

BYD Auto Japan株式会社　お問い合わせフォーム ：<https://byd.co.jp/contact/>

**■「BYD AUTO EXPOCITY」概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 | 大阪府吹田市千里万博公園2-1 ららぽーとEXPOCITY １F-10580区画 |
| オープン日 | 2023年4月28日（金） |
| 営業時間 | 10:00～21:00 |
| 定休日 | なし（施設に準ずる） |
| 電話番号 | 06-6310-0690 |
| E-mail | [nozaki@forseasons.jp](mailto:nozaki@forseasons.jp) |
| ショールーム面積 | 117.07㎡ |
| 運営 | フォーシーズンズ株式会社 |

**■BYD AUTO販売ネットワークについて**

BYD Auto Japanは、2025年末までに100を超えるショールームを備えた店舗を全国に作ることを目標に掲げています。2023年2月、日本1号店となる「BYD AUTO東名横浜」を神奈川県横浜市にオープンしたのを皮切りに、同月には大阪府堺市に関西初出店となる「BYD AUTO堺」、4月7日（金）には「BYD AUTO越谷」、4月22日（土）には「BYD AUTO横浜中央」をオープンいたしました。さらに、開業準備室として、4月29日（土）に「BYD AUTOさいたま南」、5月以降に「BYD AUTO盛岡」、「BYD AUTO東京品川」、「BYD AUTO新潟」、「BYD AUTO鹿児島」が順次営業を開始する予定で、全国の開業準備室を含めると、計41の拠点のオープンが決定しています。

なお、開業準備室については本格的なショールームはございませんが、試乗や購入に関する相談及び購入後のアフターサービスを受け付けております。販売ネットワークの準備状況は、WEBサイト（URL：<https://byd.co.jp/e-life/dealer/>）をご参照ください。

**■最新のテクノロジーが満載　スポーティーで躍動感あふれるe-SUV「BYD ATTO 3」**



スポーティーで躍動感あふれるデザインが特徴の「BYD ATTO 3」は、2022年2月に中国で販売を開始して以降、オーストラリアやタイなどのアジア太平洋地域でも発売され、2022年末までのグローバルでの累計販売台数は20万2,058台に上ります。さらに、欧州ではドイツやフランスなどを含む9ヵ国での販売も決定しており、Euro NCAP（※2）の安全性評価で最高評価の5つ星を獲得するなど、高い安全性が裏付けられたBYDの世界戦略EVです。

BYDが独自開発した「ブレードバッテリー」を搭載したEV専用のプラットフォーム「e-Platform 3.0」を採用し、470kmの航続距離（WLTC値※3）と高い安全性、フラットな床面によって広い車内空間と440Lの荷室容量を実現しました。加えて、予測緊急ブレーキシステムやBYDアラウンドビューシステム、ブラインドスポットインフォメーションなど、日本の交通環境にあわせた先進安全・運転支援機能も充実しています。その他にも、V2L（Vehicle to Load）とV2H（Vehicle to Home）にも対応しており、停電時の電源供給やキャンプをはじめとする野外での活用など、お客様のe-Lifeをサポートいたします。

▶「BYD ATTO 3」製品ページ：<https://byd.co.jp/e-life/cars/atto3/>

（※2）Euro NCAPは、ヨーロッパで実施されている自動車安全性評価テスト。

（※3）自社による実測値WLTCモード（自社調べ）一充電走行距離は定められた試験条件のもとでの値。お客様の使用環境や運転方法に応じて異なります。

**【BYD Auto Japan株式会社について】**

BYDの日本法人 ビーワイディージャパン株式会社の100%出資子会社として設立したBYD Auto Japanは、日本におけるBYDの乗用車販売サービス専業会社です。

|  |  |
| --- | --- |
| 社名 | BYD Auto Japan株式会社（英名：BYD Auto Japan Inc.） |
| 本社所在地 | 神奈川県横浜市神奈川区金港町1番地7　横浜ダイヤビルディング19F |
| 事業内容 | BYD製乗用車の販売、アフターセールスおよびその他関連業務 |
| 代表取締役社長 | 東福寺 厚樹 |

**【BYDグループとは】**

BYDは、1995年に中国・深圳で創業し、ITエレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティの4つの領域で事業をグローバルに展開しています。バッテリーメーカーとして創業した背景から、バッテリーはもとより、モーターやコントローラーなど電気自動車のコアとなる技術を自社開発・製造しています。特に、自動車事業においては、世界70超の国と地域、400超の都市に電気自動車を展開し、中国国内では9年連続でNEV販売台数第1位（※4）となりました。さらに、2022年には電気自動車販売台数世界No.1（※1）となりました。

（※4）出典「Global EV Outlook 2020」

以上

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2023年4月26日（水）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

**製品に関するお問い合わせ：**

BYD Auto Japan株式会社　お問い合わせフォーム ：<https://byd.co.jp/contact/>